

まだまだ発展途上のまち“つくば”そして“LOM” シニアは、現役の応援団「勇気を持って、一步前へ！」



(上) 国際アカデミーでのホストファミリー協力も楽しい思い出です。
(下) 大穂地区での地区会議のひとつコマ。

社団法人つくば青年会議所は、1983年つくば市誕生前の6カ町村のメンバーにより筑波学園青年会議所として創立され、全国708番目のLOMとして承認されました。その後、1986年社団法人格を取得しました。1987年3町1村合併により、全国で4番目のひらがな表記のつくば市が誕生し、これを機に1989年名称変更により社団法人つくば青年会議所となり現在に至っております。

昨年度は会員拡大30%を達成し、現在、現役会員数130名、OB会員数は176名となり、28年の歴史とともに成長しつつある、まだまだ発展途上の青年会議所です。

本年度は、関東地区協議会へ高田稔美会長を輩出させていただき、また、7月には第23回国際アカデミーをつくばの

地で開催させていた
だくなど、精力的に
現役のメンバーは活
動をしております。

当シニアクラブと
しましても、本年度
高田英治シニアクラ
ブ会長を先頭に、例
年通り現役への支
援を第一に考え、多
くの交流事業を企
画し活発に活動を
しております。当L

OMが、こんな時代でも元気に成長して
いる理由の一つは、気軽にできる現役の
事業へのシニアの参加、また、シニアクラ
ブの事業への現役の参加、そしてまた、
現役とシニアの共同事業の開催など、自
然な中で気軽に行なわれていくからで
す。このことがシニアと現役の垣根を低
くし情報という風を通し易くしている
から、「お互い困った時には助け合い」が
できているのではないかと思います。

本年度の現役の事業へのシニアの参加
として、会員拡大のための旧6カ町村で
の地区会議への参加、国際アカデミー
ホームステイの受入などがあります。ま
た、シニアクラブ事業への現役の参加と
しては、国防を考える事業で、海上自衛



(上) シニアクラブの海上自衛隊護衛艦「たかなみ」視察事業では、国防について理解を深めました。
(下) シニアと現役の共同事業「まつりつくば・ねぶたパレード」のつくばねぶたを前に写真撮影！

隊護衛艦「たかなみ」の視察を開催いた
しました。そしてまた、現役とOBの共
同事業として、毎年40万人の観客を数
える「まつりつくば・第13回ねぶたパレ
ード」の開催、本年度はシニアクラブから
塚越和之実行委員長を輩出して行な
われます。

これから、「明るい豊かな社会」を
築くため、現役とともに「夢と未来のあ
るつくばの創造に向けて」活動してい
ます。ありがとうございました。

つくばJCシニアクラブ 会長
高田 英治
つくばJCシニアクラブ 監事
染谷 芳宏